

～下田のデキゴト～



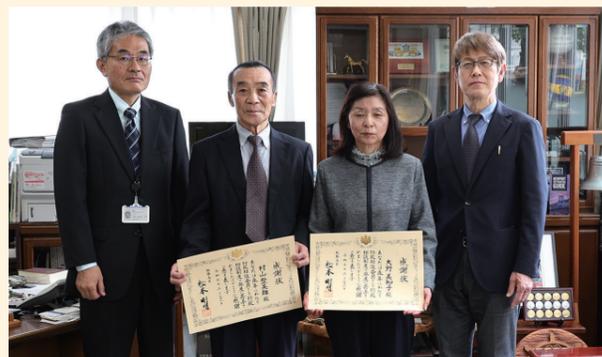
3/27 お吉を偲ぶ

お吉の命日であるこの日、お吉ヶ淵と宝福寺において、法要が営まれました。お吉ヶ淵では読経に続いて華麗な芸者衆が池に献花し、最後にお吉と鶴松に見立てた2匹の錦鯉を放流し、二人の冥福を祈りました。



4/10 守ろう！交通ルール！

「新入学（園）児を交通事故から守る県民運動」が4日から10日まで実施されました。10日には警察署や交通安全関係団体による街頭広報が行われ、のぼり旗でドライバーに注意喚起を行いました。



4/12 長い間ありがとうございました

3月末まで行政相談員として市民と行政のかけはしとなり、多大なる御尽力をいただいた村山登美雄さん（8期16年）と大野美知子さん（4期8年）に総務大臣から感謝状が贈呈されました。



4/16 消防団規律訓練

市消防団の辞令交付式と基礎講習・規律訓練が行われ、新入団員を含む73名の団員が出席しました。先輩方や自衛隊の指導のもと、基本的な規律動作を学びました。



4/18 寄贈式（アシベ商事）

アシベスカイグループ様から子どもたちのために活用してほしいとご寄付をいただきました。寄付金は、まどが浜海遊公園と敷根公園の遊具への保守点検費用として活用させていただきます。



4/20 下田市行政協力委員会議

市民文化会館において、行政協力委員会議が行われ、昨年度で退任した各区の区長様へ感謝状の贈呈式が行われました。地元の諸問題解決や、市役所とのパイプ役となるなどのご尽力、誠にありがとうございました。

**4月の
できごと**

- 1日 下田認定こども園入園式
- 7日 市内小学校入学式
下田中学校入学式
- 10日 春の全国交通安全運動一斉街頭指導

- 12日 行政相談委員感謝状贈呈式
- 16日 消防団辞令交付式
- 20日 下田市行政協力委員会議
- 23日 市議会議員選挙投票日

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



6月の予定

- 1日(木) 赤ちゃんとパパ・ママのふれあいタイム
講師 佐々木かおり先生 14:00～
 - 2日(金) 入園についてのお話
教育委員会 10:30～
 - 3日(土) 開館日
 - 5日(月) 体操教室 講師 鈴木理里先生
市民スポーツセンター 10:00～11:00
 - 7日(水) かたつむり製作
 - 8日(木) かたつむり製作
 - 9日(金) おでかけ広場 海遊公園 9:30～11:00
午後閉館
 - 12日(月) 体育館で遊ぼう
市民スポーツセンター 9:30～11:00
 - 14日(水) 知育ヨガ 講師 村瀬勸子先生 10:30～
 - 16日(金) 敷根公園で遊ぼう 9:30～11:00
 - 17日(土) 開館日
 - 19日(月) 交通安全教室 10:30～
 - 22日(木) 下田認定こども園交流 9:30～
 - 23日(金) わくわくタイム 午後閉館
 - 26日(月) 発育測定・育児相談
保健師講話 保健師、栄養士来所
 - 28日(水) 誕生会 10:30～
 - 29日(木) 劇団「カキヌマ」10:30～
- 予定が変更になる場合があります。
詳細は、支援センターまでお問い合わせください。



フロアーの様子



おおきくなったねの会

爽やかな風が心地よく、戸外で過ごすことが気持ちのいい季節になりました。この時期には戸外にお散歩に出かけ草花や土、虫などの春の自然にたっぷり触れるのも楽しいですね。

子育て支援センターでは、ひとつ大きくなったお友達に加え、新しいお友達も少しずつ増えてきています。親子で一緒に遊び、ゆったりとした時間を過ごしていただければと思います。気軽に遊びに来てくださいね。



誕生会



敷根公園で遊ぼう

こんにちは、教育長です

～生きる支えとなるもの①～

私が小学校1年生の時。その当時、1年生で「テスト」というものがあつたか定かではありませんが、10問程度の国語の問題が担任から配られました。私は0点でした。帰宅し母に見せると、母は血相を変えて、その夜、答案を持ち、私を連れてパソコンバスに乗り、担任宅へ向かいました。夜も遅かったと思います。担任の先生は玄関に出てくださいました。母は深く頭を下げ、私にも下げさせ、「この子がこんな点を取って（点は取っていませんが）申し訳ありません。この子にどう勉強させたらよいでしょうか。」母はこんなことを言っていたように思います。翌日同じテストを受けさせてもらい90点。得意になって母に見せたら調子に乗るなど叱られました。

実は訪問前からそのことを承知していましたが、もうお忘れだろうなと思い、あえて過去には触れず勲章の伝達をいたしました。すると、私の名札をしばらく見つめ、ゆっくり顔を上げ、「あなた…さだみくん？」「はい！〇〇先生、分かりますか？」お会いするのは小学校以来かもしれません。「分かるわよ。あなた、いつも周りの子とおしゃべりばかりして、いつまでもたつても着替え終わらなくて、あたしがよくボタンをしゃべってやったのよね。覚えてるでしょ？」私は全く覚えていません。「僕も0点のテストを持って母と夜お邪魔して…。」「そんなことあつたかしら。」先生も覚えていらつしやいませでした。思い出話をそれぞれ話のですがお互い記憶がありません。でも、そのほんの数分間、先生と小学校時代を心の中で共有していた気がしました。懐かしさと嬉しさに併せて、なんだか「ありがとうごさいました」という感謝の思いまで溢れる訪問となりました。

